

障害のある子どもの教育における支援機器活用の充実をめざして

【研究の趣旨および概要】

情報関連支援機器等（以下支援機器等と略す）を利用することの有効性は先行実践例等から知られています。しかし、視覚障害、聴覚障害特別支援学校を除けば、一部の関心の高い教員が異動すると、他の多くの教員はこれらの支援機器の有効性についての意識はあるものの利用をやめてしまう実態があるように見受けられます。そこで、本研究では、特別支援学校における支援機器等の普及・利用状況を把握するとともに、支援機器等を効果的に活用している学校に協力を依頼した上で利用方法、活用方法について映像マニュアルを開発し、それらを Web サイトから提供していきます。

【特別支援学校における支援機器等の保有状況・利用状況の実態調査】

調査票は、特別支援学校1,005校に送付し、平成20年1月1日現在での支援機器等の整備・活用状況について回答を求めました。各学校長宛に情報教育担当教員による記入を依頼し、726校から回答を得ました（回収率72.2%）。単一の障害を対象とする学校の他に「知・肢併置校」と「その他」、「不明」の 카테고리を設けて分析しました。調査した68種類の機器のうち保有率が50%を超えていたのは25種類ありました。また、保有率が少ない機器についても、個別のデータをみると「多くの児童生徒」が「毎日」使っていることも多いこと、学校のネットワーク回線速度から96%の学校は動画等が受信可能であることなどがわかりました。

【映像マニュアル作成】

・映像マニュアルの規格等

主な利用対象を特別支援学校等の教員とし、一人または数名程度が勤務先で動画の映像マニュアルを利用することを想定しました。そこで、インターネット経由で視聴しても画像や音が途切れない動画配信が必要と考えました。また、その題材としては、研究所にある支援機器等の他、研究協力機関で実際に活用されている支援機器等としたことから、研究協力機関の教員が撮影した動画データを手軽に登録できることや第三者による再利用等に対する対策等が可能なことに配慮しました。

・映像マニュアルについて

支援機器等の映像マニュアルは以下のように分類されます。

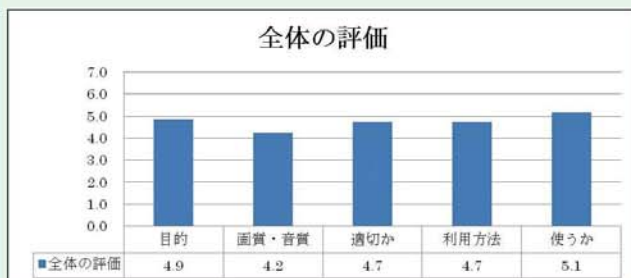
- 支援機器等の機能の基本的な説明
- 支援機器等の教育現場における利活用の具体的な説明

特に利活用の説明では、児童生徒の個人情報に配慮して作成しました。また、支援機器等の情報等を共有するために運用しているWebサイトは、支援機器等の動画等の他に右図に示している項目の情報の登録や容易な更新が可能です。

■映像マニュアル公開1 >> 記事詳細	
タイトル	パソコン用スイッチインタフェース (単体)
カテゴリ	動くこと
サブカテゴリ	コンピュータ
主な対象障害	肢体不自由
基本的な使い方	様々なスイッチを接続するためのインタフェースとなります。パソコンとつながる小さな箱にスイッチを接続できるジャックがついています。付属のドライバソフトを利用してどのスイッチにどの信号を割り当てるかを規定します。一般にWebページでは「tab」と「return」キーの2つで随分できるようになっています。スイッチ接続インタフェースと障害に応じたスイッチを使ってWebを見ることが出来ます。文字入力の際は、オンスクリーンキーボード等のソフトウェアが必要です。
連絡先、関連サイト	関連サイト アクセスインターナショナル テクノツール http://www.ttools.co.jp/
動画等	
動画のキャプション	コンピュータにスイッチを接続しつなげることはできません。

【映像マニュアルの評価】

作成された映像マニュアルを「目的」「画質・音質」「適切か」「利用方法」「使うか」といった項目について7段階の評価をし、「良かった点」と「改善点」について記述式の評価を行いました。また、10の支援機器については、協力校に依頼し詳細な検討を行いました。全体的な評価としては、画質や音質での評価が低い傾向があり、画像そのものというよりも編集段階についての評価となっていました。また、記述式の評価の中にもう少し詳細な内容を求めたものもありましたが、作成意図としては興味を持ってもらい、活用のヒントになるようにと考えて作成したものであるため、画質や音質、内容の大きさなどは今後の課題となりました。また、映像マニュアルに取り上げられた支援機器等を知っている教員の方が、知らなかった教員よりも良い評価をあげており、このようなマニュアルが作成される必要性を理解しているため、そのような評価が得られたのだらうと考えられました。各学校のまとめからは、映像マニュアルを作ることの有効性や必要性も高いと評価されており、撮影技術や編集技術を上げながら、より分かりやすい映像マニュアルの作成が望まれていることが分かりました。



本リーフレットは、研究所で行った次の研究を基に作成しています。

【研究課題名（研究期間）】

専門研究A「障害のある子どものための情報関連支援機器等の活用を促進するための教員用映像マニュアル作成に関する研究」

(平成19年度～平成20年度)

【研究代表者名／問い合わせ先】

研究代表者：中村 均
(メールアドレス nakamr@nise.go.jp)
研究分担者：渡邊正裕 (副代表)
渡邊 章 (平成19年度)
棟方哲弥
金森克浩 (平成20年度)
太田容次

【本研究課題のWebページ】

本研究については、下記の研究所Webサイトに掲載されています。

http://www.nise.go.jp/blog/2008/05/post_648.html